

学科別推薦本コーナー

皆さん大学に入学して、講義で使用する本以外にどのような本を参考にすればよいのかといったことが気になると思います。

そこで、ここでは、理学部、工学部、総合情報学部の各学科の先生からご推薦いただいた本を紹介します。

これからの大学生活の中で、学ぶ分野は学科によって異なってきますが、自分が在籍している学科のみならず他の学科の先生の推薦する本も是非読んでみてください。

理学部

①タイトル ②著者 ③出版社 ④推薦コメント

応用数学科

- ① **学問と職業としての数学** ② **コルモゴロフ 著** ③ **大竹出版**
 ④ 20世紀の高名な数学者、コルモゴロフが数学についての思い出や数学教育、さらに数学者としての職業について、大学生や数学教師に向けて語ったもの。コルモゴロフは1930年代に、確率論の基礎概念を数学的に定式化した。モスクワ大学教授を60年近く勤め、多くの弟子を育てた。(推薦者:高嶋恵三先生)
- ① **情緒と創造** ② **岡潔 著** ③ **講談社**
 ④ 20世紀の日本の生んだ高名な数学者の1人である、岡潔は教育と人の心の在りように関して強い危機感を抱き、30年以上も前から、数学者としての独自の観点から様々な提言をしている。その岡潔の言葉をまとめたもの。(推薦者:高嶋恵三先生)

化学科

- ① **「超能力」授業入門** ② **田中玄伯 著** ③ **かもがわ出版**
 ④ 著者は本学の卒業生で中学校の理科教員です。生徒の前で超能力(もちろん手品です)を見せる授業を展開し、さらには科学マジックの本を出版したり、NHK教育テレビの「科学大好き土曜塾」という番組等に出演されたりと大活躍されています。本書は著者の教育実践記録です。特に教員志望の方にお薦めします。(推薦者:高原周一先生)
- ① **はかつてなんぼ 職場編** ② **日本分析化学会近畿支部 編** ③ **丸善**
 ④ 専門書のイメージを払拭する関西弁をタイトルにしたこの本は、はかることの大切さやはかることによって何がわかるかということが易しく丁寧に書かれています。このシリーズは「学校編」、「環境編」、「社会編」などがありますが、「職場編」が新入生のみなさんにとって一番興味深く読んでもらえると思います。(推薦者:横山崇先生)

応用物理学科

- ① **免疫学個人授業** ② **多田富雄・南伸坊 著** ③ **新潮社(新潮文庫)**
 ④ イラストレーターでもありエッセイストでもある南伸坊さんが、大学の先生の元で講義を受け、その際のやりとりをまとめられた本です。南伸坊さんの軽妙な文章が面白く、新入生の皆さんにも読みやすいと思います。このシリーズにはその他に「生物学個人授業」や「解剖学個人授業」があり、いずれもお勧めです。(推薦者:堀純也先生)
- ① **脳のヴィジョン** ② **S.ゼキ 著** ③ **医学書院**
 ④ 経験から生まれた知識には限られた値打ちしかない。著者のゼキは、視覚研究の第一人者で、書名のヴィジョンには、視覚だけでなく展望という意味も込められている。この展望は脳の研究史を批判的に洞察することで展開され、本書は優れた脳研究の参考書であると同時に、天才的研究者の随想として読んで面白い。(推薦者:畑中啓作先生)
- ① **自然科学の鑑賞** ② **曾我文宣 著** ③ **丸善**
 ④ 現代物理学を一読できる物理学徒のための本、みかけは易しいが、有馬朗人先生もご推薦されており、内容は広く深い。新4年生のプレゼミにも使っているが、範囲は原子核から医用物理と広い。(推薦者:中川幸子先生)